

## 第7回深谷市環境エコ川柳審査総評

入賞されました皆さんおめでとうございます。今年の応募句数は64句でした。規定により特選1作品、準特選2作品、佳作5作品を次のとおり選出しました。今年の特徴としましては、秋期から冬期の作品が大多数を占めました。また川柳の基本であります、5、7、5の定型がしっかり守られていて大いに評価できます。審査基準は独創性と作品の完成度を重点に採点しました。

### 特 選

- ゴミ0がサケの遡上を呼び戻す (47番)  
上5の「ゴミ0」が中7、下5にリズムよくつながり、読む人の心を打つ。

### 準特選1

- 日の光 部屋も心もポッカポカ (51番)  
この句は自然のエネルギーに目をつけたところが良かった。  
上5と下5のとり合せも良い。

### 準特選2

- カーシェアで知恵と絆を結び合う (22番)  
上5の「カーシェア」はカーシェアリングの略語で、乗用車を  
共同で保有すること。都会ではこのようなことが行われている  
ようだ。助詞の使い方もち確である。

### 佳 作1

- 家計簿を笑顔に変えるエコの技 (42番)  
この句は中7の表現が良い。欲を言えば下5をエコロジー（環

境保護)のような5音字のことばにするともっと良かった。

## 佳 作 2

○先人の知恵を生かしてエコライフ (5番)

このような作品はややもすると教訓的になってしまうが、下5がこれを救った。

## 佳 作 3

○使い切る工夫で減らすゴミの山 (1番)

この句のようにあたりまえのことを、あたりまえに表現するのは難しいものだが、うまく5, 7, 5にまとめた。

## 佳 作 4

○寒くてもストレッチしてポッカポカ (24番)

中7のストレッチに作者のエネルギーを感じる。健康的な作品になった。

## 佳 作 5

○一部屋に家族集まり暖一つ (49番)

この句は下5の「暖一つ」が一句をひきしめた。私の句にも「寒灯を一つにともし地図の旅」というのがある。

## 選 者 吟

画用紙に生まれかわった再生紙

冬だってエコの材料ありますよ

酒井 青二

てじま晩秋